

【資金運用に関する情報提供】

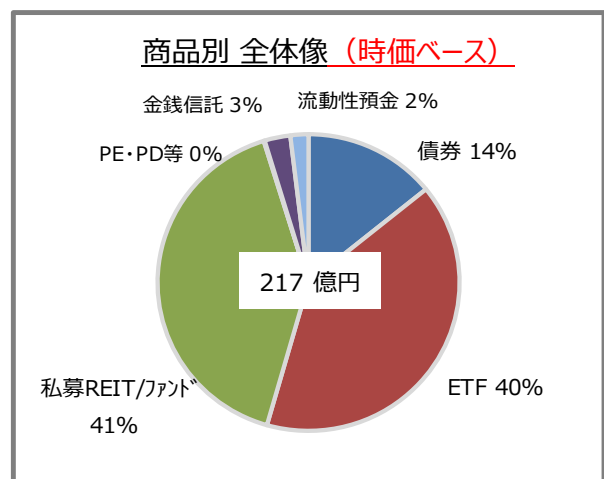
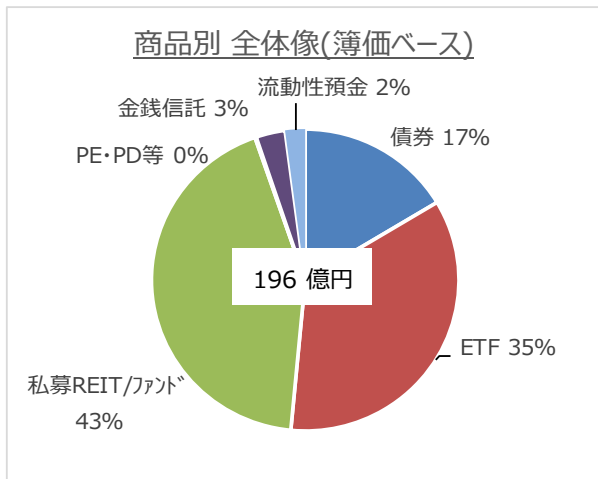
(1) 2024年度事業活動収支における運用結果情報

「経常(教育活動外)収支」			
受取利息・配当金	601,060,773 円	} 当期実現損益	} 総合損益
「特別収支」			
有価証券売却差額	283,510,198 円		
有価証券処分差額	△ 22,786,000 円	861,784,971 円	
「金融資産の時価情報」			
有価証券含み損益 前年度比	△ 191,286,417 円		670,498,554 円

学校法人会計において「経常収支」の中に計上される運用果実は受取利息・配当金であり、当年度は601百万円（前年度比17%増）となりました。数年前からETFや私募REITなど高利回り商品へ資金シフトを行ってきましたが、その効果を年度を通じてフルに享受するようになった結果です。

「特別収支」に計上される資産売却（処分）差額の中には、運用果実としての“有価証券売却（処分）差額”が含まれ、当年度は差引で261百万円を計上しました。その結果、当年度の事業活動収支に計上される運用果実の総合計である当期実現損益は862百万円となり、学院全体の収支に大きく寄与しました。なお、損益の実現化や時価の変動による“有価証券含み損益の増減”（次頁②明細表参照）もさらに加味した当年度中の総合損益は670百万円となりました。

(2) ポートフォリオの全体像（運用可能資産全体 / 簿価ベース・時価ベース）



従来債券や大口定期で占められていた運用ポートフォリオですが、2020年以降、ETFや私募REITへのシフトを開始し、2024年度初には概ね現在の形に至っています。ETFで換金性を十分担保した上で、私募REITほかオルタナティブ投資で利回りの向上を図っています。ETFの中身は全てパッシブ運用で、東証REIT、日本株、米国株、米国債の各インデックスに分散配分し、また一部銘柄では為替リスク（円安メリット）も取り、インカムゲインとキャピタルゲインの両立に配慮した構成としています。またETFや私募REITの銘柄選定においてESGに配慮しています。

(3) 金融資産の時価情報

①総括表

(単位 円)

種 類	当 年 度 (令和7年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの (うち満期保有目的の債券)	12,707,722,027 (0)	15,152,404,681 (0)	2,444,682,654 (0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの (うち満期保有目的の債券)	5,916,833,215 (0)	5,524,044,410 (0)	△ 392,788,805 (0)
総 計 (うち満期保有目的の債券)	18,624,555,242 (0)	20,676,449,091 (0)	2,051,893,849 (0)
時価のない金融資産	600,593,432		
有 価 証 券 合 計	19,225,148,674		

②明細表

(単位 円)

種 類	当 年 度 (令和7年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	3,218,865,000	3,076,816,800	△ 142,048,200
株式	0	0	0
投資信託 (ETF)	6,899,138,187	8,736,230,000	1,837,091,813
その他 (私募REIT/ファンド、PE)	8,506,552,055	8,863,402,291	356,850,236
総 計	18,624,555,242	20,676,449,091	2,051,893,849
時価のない金融資産	600,593,432		
有 価 証 券 合 計	19,225,148,674		

(参考) 2023年度 ②明細表

(単位 円)

種 類	前 年 度 (令和6年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	5,333,447,000	5,263,957,700	△ 69,489,300
株式	0	0	0
投資信託 (ETF)	7,000,924,789	9,102,886,000	2,101,961,211
その他 (私募REIT/ファンド、PE)	7,627,893,408	7,838,601,763	210,708,355
総 計	19,962,265,197	22,205,445,463	2,243,180,266
時価のない金融資産	600,593,072		
有 価 証 券 合 計	20,562,858,269		